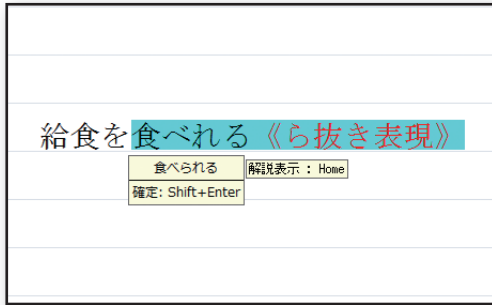




入力・変換中に 日本語の誤りを防ごう



教材を作る際には、誤りのない日本語に留意したいもの。

ATOK なら、間違えやすい四字熟語や慣用句の誤りを正したり、「食べれる」のような「ら抜き表現」を指摘したりするなど、不適切な表現を入力・変換中にチェックしてくれるので安心です。



コネタくんからのアドバイス!

校正支援機能を使うと、二重敬語や読み・仮名遣いの誤りなどもチェックできるよ。チェックできる項目については、一度 ATOK プロパティで確認してみよう。

四字熟語の誤りを正す

1 「ぎょくせきこんごう」と入力し、変換します。

ぎょくせきこんごう

2 誤りの指摘とともに正しい変換候補がツールチップで表示されるので、[Shift] + [Enter] キーを押して確定します。

玉石混淆 《「玉石混淆(ぎょくせきこんごう)」の誤り》
玉石混淆
確定: Shift+Enter

3 「玉石混淆」と正しく入力されたのを確認します。

玉石混淆

慣用句の誤りを正す

1 「まとをえる」と入力し、変換します。

まとをえる

2 誤りの指摘とともに、正しい変換候補がツールチップで表示されます。

複数の変換候補がある場合は、[Ctrl] + [↓] キーまたは [Ctrl] + [↑] キーで置き換えたい候補を選択し、[Ctrl] + [Enter] キーを押して確定します。



3 「的を得る」と正しく入力されたのを確認します。

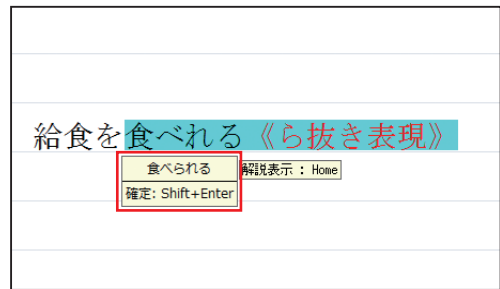


ら抜き表現を訂正する

1 「たべれる」と入力し、変換します。



2 誤りの指摘とともに正しい変換候補がツールチップで表示されるので、[Shift] + [Enter] キーを押して確定します。



One Point
[Home] キーを押すと、ら抜き表現の解説を表示できます。

3 「食べられる」と正しく入力されたのを確認します。



くだけた表現やよく似た同音語を指摘する

校正支援機能を使うと、くだけた表現やあいまいな修飾関係を指摘して洗練された文章に整えたり、入力変換時によく似た同音語を表示したりすることができます。これらの細かな設定は、ATOK パレットの [校正支援] シートで行います。

- 1 ATOK パレットの [メニュー] をクリックして、基本のメニューから [プロパティ (環境設定)] を選択します。
- 2 ATOK プロパティの [校正支援] シートをクリックします。
- 3 [誤りチェック] [表現の洗練] [用語・用例] [環境依存文字] [印刷標準字体] をそれぞれ選択し、細かな設定を行います。
- 4 設定が完了したら、[OK] をクリックして ATOK プロパティを閉じます。

